

令和４年度　特別号

令和４年12月8日

練馬区立開進第三小学校

校　長　 岡　部　良　美

**学校通信**

**学力向上を図るため調査結果（概要）のお知らせ**

今年度の調査結果をお知らせします。

　本校では、子供一人ひとりが「わかる・できる・つかう・つくりだす」学習能力を身に付けることを目指しています。本結果をもとに、授業を改善していくとともに、来年度に向けて、どの場面において今まで学習してきた内容を生かすことができるのかを考え、指導計画を作成していきます。

**１　全国学力・学習状況調査　【対象：６学年】**

　実施日：令和４年４月１９日（火）

（１）国語　　学習指導要領の領域の内容、平均正答率（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 我が国の言語文化に関する事項 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 国語全体 |
| 本校 | ７３．１ | ７４．４ | ６９．０ | ５０．０ | ７３．８ | ６９ |
| 東京都 | ７１．４ | ７５．５ | ６９．１ | ５１．３ | ７２．１ | ６９ |
| 全国 | ６９．０ | ７７．９ | ６６．２ | ４８．５ | ６６．６ | ６５．６ |

　「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、正答率で都平均を１．８ポイント、全国平均を４．１ポイント上回りました。「話すこと・聞くこと」では、都平均を０．１ポイント下回ったものの、全国平均は２．８ポイント上回りました。「書くこと」では、都平均を１．３ポイント下回ったものの、全国平均を１．５ポイント上回りました。「読むこと」では、都平均を１．７ポイント、全国平均を７．２ポイント上回りました。

　一方、「我が国の言語文化に関する事項」では、都平均を１．１ポイント下回り、全国平均では３．５ポイント下回りました。調べたことを報告書にして書きまとめたり、手紙を書いたりする学習活動を通して、児童が書く活動における文字の配列の留意点等の要点に気付き、日常生活においても生かすように指導します。

（２）算数　　学習指導要領の領域の内容、平均正答率（％）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 数と計算 | 図形 | 変化と関係 | データの活用 | 算数全体 |
| 本校 | ７３．０ | ７１．５ | ５８．９ | ７２．２ | ６８ |
| 東京都 | ７２．１ | ６８．６ | ５７．６ | ７２．４ | ６７ |
| 全国 | ６９．８ | ６４．０ | ５１．３ | ６８．７ | ６３．２ |

　概ね全ての領域の全平均正答率において、都平均、全国平均を上回りました。

　「数と計算」領域では、都平均を０．９ポイント、全国平均を３．２ポイント上回りました。「図形」領域では、都平均を２．９ポイント、全国平均を７．５ポイント上回りました。さらに、「変化と関係」領域では、都平均を１．３ポイント、全国平均を７．６ポイント上回りました。

　一方、「データの活用」領域では、都平均を０．２ポイント下回り、全国平均では３．５ポイント上回りました。複数のグラフから適切なグラフを選択し、データの特徴や傾向を読み取ることができるように、観点を決めて分類する指導を続けます。

（３）理科　学習指導要領の領域の内容、平均正答率（％）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 「エネルギー」を柱とする領域 | 「粒子」を柱とする領域 | 「生命」を柱とする領域 | 「地球」を柱とする領域 | 理科全体 |
| 本校 | ５７．４ | ５４．５ | ７９．８ | ６９．３ | ６６．０ |
| 東京都 | ５３．４ | ６２．４ | ７７．４ | ６７．７ | ６５．０ |
| 全国 | ５１．６ | ６０．４ | ７５．０ | ６４．６ | ６３．３ |

　「エネルギー」を柱とする領域」では、正答率で都平均を４．０ポイント、全国平均を５．８ポイント上回りました。「生命」を柱とする領域では、都平均を２．４ポイント、全国平均を４．８ポイント上回りました。「地球」を柱とする領域では、都平均を１．６ポイント、全国平均を４．７ポイント上回りました。

　一方、「粒子」を柱とする領域では、都平均を７．９ポイント下回り、全国平均を５．９ポイント下回りました。粒子を柱とする領域では、目的に応じて器具を選択し、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることが大切です。観察、実験に合う器具を選択して取り組む学習活動をすすめていきます。

（４）意識調査（調査結果の一部）

　学習面・生活面の意識調査も行いました。その結果から一部を抜粋してお知らせします。

自分には、よいところがあると思いますか。

「当てはまる」については、４３．８％、「どちらかといえば、当てはまる」については３３．９％の児童が肯定的に回答をしています。本校で取り組んでいる「よいところ見つけ名人」「よいところ伸ばし名人」によって、児童一人ひとりが自分のよさに気付き、教師や友達が認め、児童が自信と誇りをもてる指導を継続しています。その成果の一端が表れています。

　日々の意識啓発と帰りの会を中心に、さらに児童代表委員会が進める「よいところ見つけ名人キャンペーン」を通して、「よいところ見つけ」につながる機会を確保し、児童一人ひとりが「自他のよさ」を実感できるようにします。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

「当てはまる」については、１６．５％、「どちらかといえば、当てはまる」については３４．７％の児童が肯定的に回答をしています。一方、「どちからといえば、当てはまらない」については３６．４％、「当てはまらない」については１２．４％の児童が回答をしました。生活科・総合的な学習の時間を核として、地域を知り、愛着をもち、地域のためにできることを児童一人ひとりが考え、地域の担い手・創り手として貢献していく意欲を高めて、実践につなげていきます。地域学校協働活動推進委員会を中心に学校・保護者・地域による取組みを検討・計画化していきます。

学校に行くのは楽しいですか。

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と７３．６％の児童が答えました。

児童は、教育活動を通して、他者と関わりをもち、新たな発見が生まれ、さらにその発見に磨きをかけ、自己肯定感の向上を図っていきます。毎時間、教師と児童が合意形成を図り到達目標である「ルーブリック」を通して、児童が主体的に学ぶことにつながっている成果です。また、コロナ禍のため学校行事を縮小・中止にするのではなく、従来の学校行事の進め方を教職員で見直し、実施してきました。

今後も、教師と児童が向き合う時間を確保し、児童一人ひとりを褒め、育てていきます。

学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

　「ほぼ毎日」については５．０％、「週３回以上」については５．０％、「週１回以上」については１２．４％、「月１回以上」については３３．９％、「月１回未満」については、４３．０％の児童が回答しました。

タブレット端末の活用が、徐々に活性化しています。タブレット端末を有効に活用することによって、他者の意見と交流する時間を確保したり、多様な考えを整理・分析したりする学習活動を充実させていきます。今後もタブレット端末を学習ツールとして、紙ベースとバランス、学習活動にとっての何が最適かを判断して、活用していきます。

**２　児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都）（調査結果の一部）**

　　**【対象：４学年、５学年、６学年】**

　　期間：５月１９日、５月２０日、６月１日、６月１７日、６月２１日　(学年・学級で実施日を設定)

　（１）「教科の授業の内容はどのくらい分かりますか。【回答割合（％）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ４学年 | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| 国語 | ４６．１ | ４８．０ | ５．０ | ０ |
| 社会 | ４３．１ | ４６．１ | ９．８ | １．０ |
| 算数 | ５６．９ | ３１．４ | ７．８ | ３．９ |
| 理科 | ４８．０ | ３８．２ | １２．７ | １．１ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ５学年 | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| 国語 | ４９．５ | ４１．１ | ８．５ | ０．９ |
| 社会 | ５７．０ | ３４．６ | ７．４ | １．０ |
| 算数 | ６８．２ | ２７．１ | ３．８ | ０．９ |
| 理科 | ７７．６ | ２１．５ | ０．９ | ０ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ６学年 | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| 国語 | ５２．９ | ３９．５ | ６．８ | ０．８ |
| 社会 | ５７．１ | ３２．８ | ９．２ | ０．８ |
| 算数 | ６０．５ | ３１．１ | ７．６ | ０．８ |
| 理科 | ７３．９ | ２２．７ | ２．６ | ０．８ |

（２）他の人と相談して、考えを深めるようにしている。【回答割合（％）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| ４学年 | ２８．４ | ４０．２ | ２５．５ | ５．９ |
| ５学年 | ２９．０ | ３４．６ | ２７．１ | ９．３ |
| ６学年 | ３１．９ | ３６．１ | ２３．５ | ８．４ |

（３）どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。【回答割合（％）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| ４学年 | ４５．１ | ３７．３ | １１．８ | ５．９ |
| ５学年 | ４０．２ | ３６．４ | １８．７ | ４．７ |
| ６学年 | ４５．４ | ３５．３ | １６．０ | ３．４ |

（４）答えだけでなく、考え方も確かめながら学習している。【回答割合（％）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 当てはまる | どちらかといえば当てはまる | どちらかといえば当てはまらない | 当てはまらない |
| ４学年 | ４６．１ | ３４．３ | １７．６ | ２．０ |
| ５学年 | ３４．６ | ４２．１ | １５．９ | ７．５ |
| ６学年 | ４２．９ | ４０．３ | １３．４ | ３．４ |

　児童一人ひとりが思考力・判断力・表現力を身に付け、自己の学びの自覚から探究に繋げる授業を展開しています。

　『探究開三小メソッド５』を基に、１時間あたりの到達目標としてルーブリックを教師と児童が共に立て、終末には「振り返り」を文章で書くことを重視して行いました。探究的な学びを追究し、思考力、判断力、表現力を育てるとともに、主体的に学習に取り組み、自己の学びの自覚につなげる指導を継続していきます。